

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 18 年 11 月 2 日 (2006.11.2)

【公開番号】特開 2005-199671 (P2005-199671A)
 【公開日】平成 17 年 7 月 28 日 (2005.7.28)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-029
 【出願番号】特願 2004-11177 (P2004-11177)
 【国際特許分類】

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

B 4 1 M 5/50 (2006.01)

B 4 1 M 5/52 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 4 1 M 5/00 B

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 9 月 20 日 (2006.9.20)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

支持体上に平均二次粒子径 500 nm 以下の無機微粒子、ホウ素化合物及び樹脂バインダーを含有する層を含む、少なくとも 2 層の塗布層からなるインク受容層を設けたインクジェット用記録材料において、該インク受容層が一級アミノ基を分子内に 2 個以上有する化合物を含有せず、樹脂バインダーとしてケト基を有する樹脂バインダーを含有し、且つ隣接するインク受容層が樹脂バインダーとしてケト基を有する樹脂バインダーを含有せず、一級アミノ基を分子内に 2 個以上有する化合物を含有するように同時塗布されてなることを特徴とするインクジェット用記録材料。

【請求項 2】

支持体上に平均二次粒子径 500 nm 以下の無機微粒子、ホウ素化合物及び樹脂バインダーを含有する層を含む、少なくとも 2 層の塗布層からなるインク受容層を設けたインクジェット用記録材料の製造方法において、該インク受容層が一級アミノ基を分子内に 2 個以上有する化合物を含有せず、樹脂バインダーとしてケト基を有する樹脂バインダーを含有し、且つ隣接するインク受容層が樹脂バインダーとしてケト基を有する樹脂バインダーを含有せず、一級アミノ基を分子内に 2 個以上有する化合物を含有する塗布液を同時塗布し、10 以下の冷風で塗布液を不動化させた後、乾燥終了点の温度が 50 以上で乾燥することを特徴とするインクジェット用記録材料の製造方法。